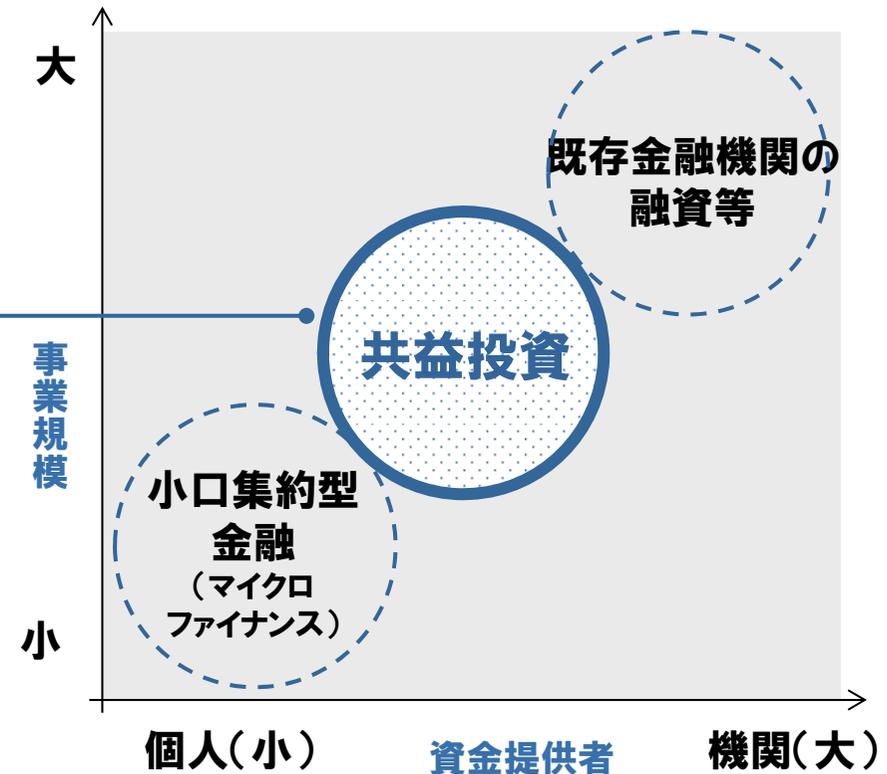


休眠預金の活用にかかる意見交換会 (平成24年11月14日)

ふるさと投資プラットフォーム推進協議会への説明資料の抜粋

新しい投資概念 「共益投資」

1. 地域経済への波及効果
2. 企業と個人の連携
3. 事業性と社会性のハイブリッド



対象案件のイメージ（東北震災復興での例）

地域中核事業復興新展開支援

地域経済の中核事業の復興と新しい商品・サービスや販路の開発による共益経済の裾野拡張

小規模伝統産業事業承継支援

東北地域固有の伝統産業の事業復興及び承継支援と拡大支援による共益経済の礎の持続展開

コミュニティインフラ新生支援

新しいコミュニティの生活を支える経済インフラの創出支援（新しいタイプの商店街等と地場企業の新展開）

地場企業さきがけ再起支援

地場の経済構造において、他にさきがけて事業再起を図る事業を支援し、波及効果を創出

地場企業復興連携拡大支援

水産業等における地場の個別企業を垂直・水平連携することによる生産販売生態系の復興

地域資源活用成長事業支援

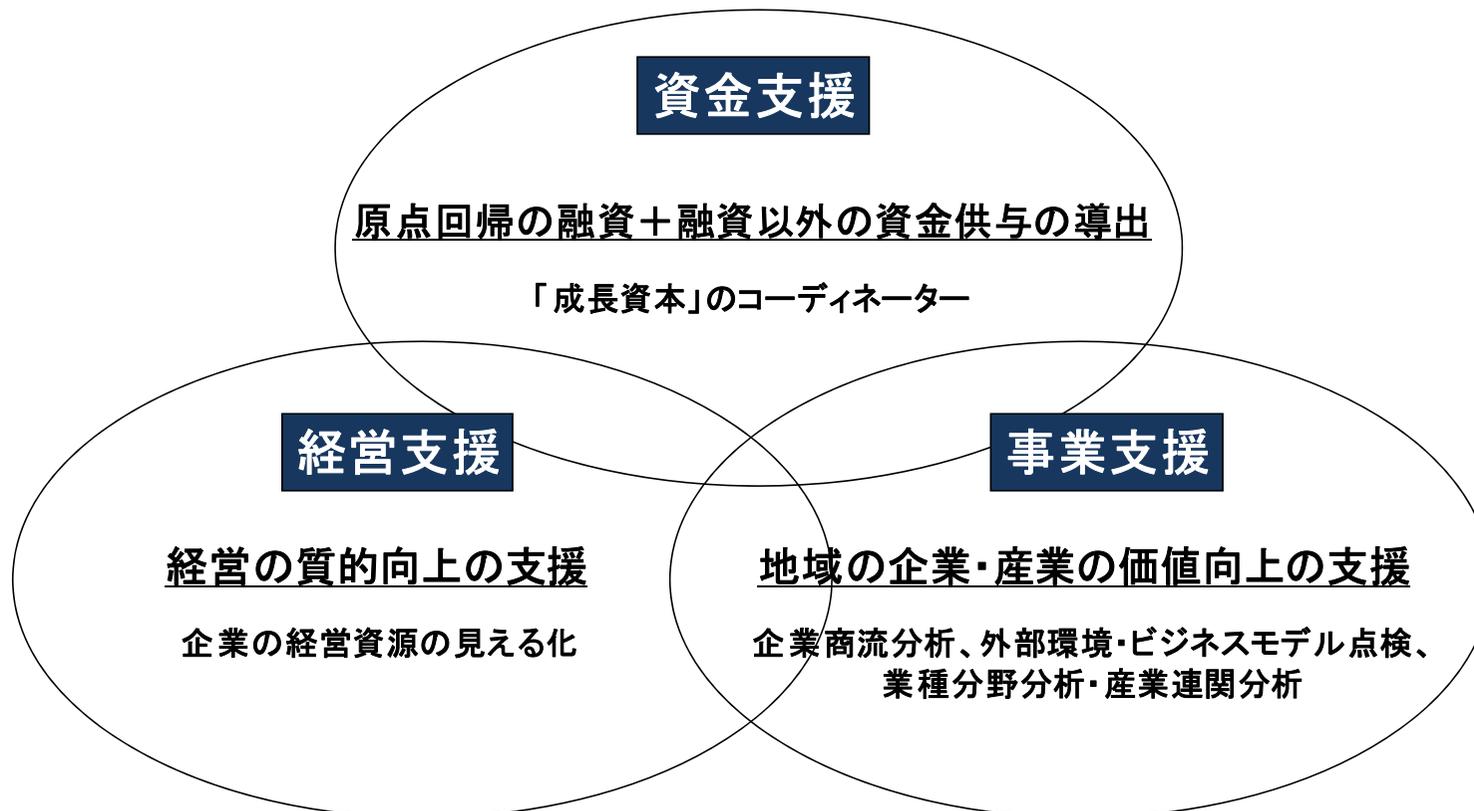
地域の特有資源を中軸にした新規事業の開発及び成長の支援

企業支援機能のあり方を考える

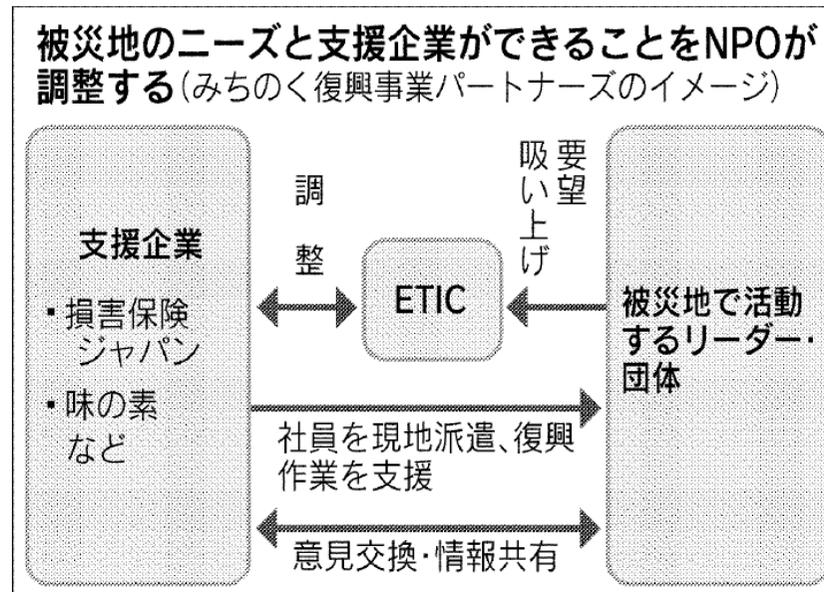
— 資金の償還可能性をどう高めていくか —

地域金融機関の企業支援機能

「経営支援」+「事業支援」+「資金支援」



(参考) NPO法人ETIC. 「みちのく復興事業パートナーズ」を設立
 企業リソースを活かし、被災地の復興に取り組む次世代リーダーを支える企業の会



(日本経済新聞 2012年8月29日)

「ヒューマンキャピタルプログラム」の提案

- 東北内外の経営支援人材(ビジネスプロフェッショナル)による、定期的なサポート活動
 資金拠出とセットで、候補者リストからマッチングし、橋渡しする
- 大局的・客観的な経営分析・助言(経営会議等への出席等)
 - 財務改善計画の策定・実行のサポート(計数チェックと打ち手議論等)
 - 事業展開のサポート(復興ビジネスモデル議論と構想策定支援)
 - ステークホルダー間の関係強化サポート(仕入先・販売先等) など
- ⇒ 理想は、地域の中小企業向けの経営参加型支援人材のインフラづくり

“個人参加型”の広義のマイクロ投資の広がり

| | 概要 | コメント |
|-----------------|---|--|
| 出資型 (匿名組合方式) | <プロジェクトファイナンス型> 売上連動を基本に資金の償還がなされるもの | 比較的シンプルなリスクとリターンの設計ができるものと考えられる |
| | <資本性資金型> 資本性借入金の諸要件に該当する設計とするもの | 長期間の経営支援やモニタリングを誰が主体で担うかという課題があるのではないか |
| 購買型 | プロジェクトの実行に必要な資金を集める“クラウドファンディング” 応募金額に応じた商品・サービスの引換券を得るもの(特定商取引法の対象) | 金額に応じた商品・サービスの設計におけるバランスと創意工夫が鍵 |
| 寄付型 | 近年の新たな動きとしては、例えば、自分が共感して応援する団体のために、ウェブサイトで自身の動きを公表するなどして、寄付を集めるもの | 基本的に任意の活動の中で、情報の質が更に高まれば、より広がることが期待される |
| 融資型 | ウェブサイトを活用して、お金を借りたい人と貸したい人をマッチングする“ソーシャルレンディング”を行うもの | 出資型や購買型とは異なる借り手の信用評価をベースに行うもの |